

船舶事故等調査報告書

平成22年10月28日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009広第194号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年7月6日 08時45分ごろ	
発生場所	香川県多度津町 多度津港内港東防波堤灯台から真方位161° 100m 付近 (概位 北緯33° 13.1′ 東経132° 24.6′)	
事故等調査の経過	平成21年7月13日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者からの意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 漁船 ^{しょうえい} 正栄丸、4.8トン KA3-30297（漁船登録番号）、個人所有</p> <p>B 漁船 ^{えびす} 戎丸、2.1トン KA3-28438、(漁船登録番号)、個人所有</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長A、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定</p> <p>B 船長B、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定</p>	
死傷者等	B 船長B 硬膜下血腫、甲板員B 左肩打撲、前額部裂傷等	
損傷	<p>A 船首部及び左舷外板に擦過傷</p> <p>B 左舷外板に亀裂及び擦過傷</p>	
事故等の経過	A船は、船長Aが1人で乗り組み、同乗者1人を乗せ、たこつぼ漁を終えて、多度津港内港の棧橋に向けて速力約12ノット(kn)（対地速力）で航行中、また、B船は、船長Bほか1人が乗り組み、たこの水揚げを終えて係留場所に戻るため同港内の棧橋を発して速力約3knで航行中、平成21年7月6日08時45分ごろ、多度津港内港においてA船の船首部とB船の左舷中央部とが衝突した。	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北、風力 1、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 上げ潮の中央期</p>	
その他の事項	<p>船長Aは、速力を落とすといけす内の海水の循環が悪くなり、たこが弱ることによって売り値が下がることから、ふだんから港内でも減速して航行することはなかった。</p> <p>船長Aは、水揚げ後に予定があったことから、いつもより速い速力で港内を航行していた。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>A船は、多度津港内港を入航中、船長Aが、前方の適切な見張りを行っていなかったものと考えられる。</p> <p>B船は、多度津港内港を出航中、船長Bが、前方の適切な見張りを行っていなかったものと考えられる。</p>

原因	本事故は、多度津港内港において、A船が入航中、B船が出航中、両船が適切な見張りを行っていなかったため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。
----	------------------------------------------------------------------------------